

# 三種町町立学校再編整備計画

令和 3 年 1 月

三種町教育委員会

目次	1
1 はじめに	2
(1) 計画策定の趣旨	2
(2) 計画の期間	3
2 町内小中学校の教育環境	3
(1) 学校の現状	3
(2) 児童生徒数の将来推計	3
(3) 学校施設の老朽化状況	4
3 再編整備に係る基本的な考え方	4
(1) 複式学級の解消	4
(2) 再編の進め方	5
(3) 教育的効果として期待できること	5
4 具体的な再編計画	6
(1) 再編の期間	6
(2) 再編対象学校	6
(3) 再編計画と再編時期	7
(4) 再編の場所	8
(5) 再編に伴う支援措置	9
5 おわりに	10
資料	
資料1 三種町内小・中学校の在り方等に関するアンケート調査集計結果	11
資料2 三種町小・中学校の在り方検討懇談会意見書	16
資料3 三種町立小・中学校 児童生徒数の推移	20
資料4 三種町立小・中学校 児童生徒数・学級数の推計	21
資料5 三種町立小・中学校 校舎の状況	22

## 1 はじめに

### (1) 計画策定の趣旨

本町は、平成 18 年 3 月 20 日、地理的、歴史的につながりが深く、産業や文化のほか、諸課題等においても共通点の多い 3 町（琴丘町・山本町・八竜町）が合併し、人口 2 万 438 人、6,356 世帯（平成 17 年 国勢調査速報値）、面積 248.06km<sup>2</sup> の「三種町」として町制が施行されました。

その後、全国的に少子化が進展する中、三種町においても人口は減少し、平成 27 年の国勢調査における人口は 17,078 人と約 3,300 人の減少となっています。年齢別では 64 歳以下の減少、65 歳以上の増加が顕著であり、平成 27 年には 65 歳以上の構成比が 40% 近くを占め、少子・高齢化が進んでいます。

町内の小・中学校の状況は、平成 18 年 3 月の市町村合併時には、小学校 8 校、中学校 3 校でありましたが、少子化による児童生徒数の減少に対応するとともに、適正規模の学習環境を確保するため、琴丘地域で複式学級が複数学年で存在していた旧鯉川小学校と旧上岩川小学校の 2 校と鹿渡小学校を再編し、平成 21 年度より新たに琴丘小学校とし、小学校 6 校、中学校 3 校の合計 9 校を設置しています。

児童生徒数は、平成 18 年から令和 2 年までの 14 年間に於いて、小学校では 47.9%、中学校では 48.5% 減少しており、今後も減少が続くことが推計されることから、将来的な児童生徒数の減少の推計を考慮しつつ、三種町の未来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境の整備に向けて、小・中学校の再編整備を行い、効率的かつ効果的な学校運営に配慮するとともに、厳しい町の財政状況を踏まえて、これらの諸課題に的確に対応する必要があります。

これらの諸課題へ対応すべく、令和元年度には三種町教育委員会並びに三種町総合教育会議において、園児や児童生徒の保護者を対象とした「小・中学校の在り方等に関するアンケート調査」を実施し、[資料 1](#) その結果及び今後の児童生徒数や町の財政事情、複式学級等教育の質、国が進める教育改革や働き方改革への対応等を基に、望ましい教育環境を確保するためにどのようにあるべきか協議し、令和 2 年 2 月に「三種町立小・中学校再編の方向性について」を決定しました。

続く令和 2 年 7 月より、町で示した「方向性」を基に学識経験者、保護者や地域の代表者による「三種町立小・中学校の在り方検討懇談会」に児童生徒の教育の機会均等、教育水準の向上のために望ましい教育環境を確保するためにはどのようにあるべきか検討を依頼し「意見書」をいただきました。[資料 2](#)

三種町教育委員会では、意見書での御提言を参考としながら、三種町立小・中学校の適正化を推進するため、再編整備に関する基本的な考え方を「三種町立学校再編整備計画」として策定しました。

## (2) 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

## 2 町内小・中学校の教育環境

### (1) 学校の現状

#### 資料3：三種町立小・中学校 児童生徒数の推移

#### ① 小学校の現状

小学校の児童数は、令和2年5月1日現在、527人となっており、平成18年時の児童数1,012人と比較すると、485人、47.92%減少しています。学級数については、町内6小学校中、5校で1学年1学級、1校で複数学年が複式学級となっており、国の法令上における学校規模の標準である「12学級以上18学級以下」を下回っています。

#### ② 中学校の現状

中学校の生徒数は、令和2年5月1日現在、307人となっており、平成18年時の生徒数596人と比較すると、289人、48.49%減少しています。学級数については町内3中学校全てで、国の法令上における学校規模の標準である「12学級以上18学級以下」を下回っています。

なお、学校規模の標準を下回る小規模校では、各教科に必要な教職員が確保されない場合があり、全ての中学校で、免許教科外教科担任の許可を受けて学校を運営していることから、その解消を図る必要があります。

### (2) 児童生徒数の将来推計

#### 資料4：三種町立小・中学校 児童生徒数・学級数の推計

令和2年5月1日現在における未就学児数、及び出生数に基づき、令和14年度までの児童生徒数を推計すると、小学校では、令和7年度には金岡小学校、令和8年度には浜口小学校、令和9年度には湖北小学校で、新たに複式学

級の発生が推測されます。

また、中学校では現在の1学年1～2学級から、令和4年度には全ての中学校で、1学年1学級になると予想されます。このことから、学校統合・編入も含めた小・中学校の再編整備を行わなければならない状況にあります。

### (3) 学校施設の老朽化状況

#### 資料5：三種町立小・中学校校舎の状況

町内9小・中学校の校舎の状況は、昭和40年代の建築が3校（1小学校・2中学校）、昭和50年代の建築が6校（5小学校・1中学校）で、最も建築年の新しい琴丘小学校、湖北小学校でも昭和55年建築といずれも築40年を経過しております。

耐震化改修では、耐震化診断を実施した結果、耐震基準値以上であった金岡小学校を除く全ての小・中学校で耐震化改修を実施しております。しかし、全ての小・中学校で屋根、外壁、電気設備、機械設備、給排水設備などの施設設備の老朽化が進行している状況で、今後も学校運営を続けるためには大規模改修等による長寿命化を検討していかなければならない状況にあります。

## 3 再編整備に係る基本的な考え方

町内の小・中学校にあっては、少子化による児童生徒数の減少によって、複式学級を抱える小学校においては、集団活動に伴う学習の多様化が困難になっています。中学校では生徒数の減少や男女の人数比の不均衡により、部活動の人数減は避けられず、自校だけではチームを組めず他校と合同チームを組み大会に出場しています。

教育委員会ではこのような状況を改善し教育の機会均等と教育水準の維持向上を確保する観点から、次の事項を基本として学校再編を行います。

### (1) 複式学級の解消

学校規模を1学年1学級以上とし、複式学級の解消を図ります。

文部科学省が例示している学校規模のメリット・デメリットの比較によると、一般的に小規模校においては、教職員と児童生徒の人的なふれあいが多く、それぞれの特性を把握しやすい。また、個に応じたきめ細かな指導ができるなど、小規模校ならではのメリットがあるといわれています。一方、児童生徒間の意見交換や多様な学びあい、グループ学習や体育・音楽等の集

団での活動が制約されるとされています。複式学級については、自学自習力は身に付くものの、グループ学習や児童間で課題を議論するといった学習方法が習得できないだけでなく、運動会や学習発表会等の学校行事を通じた体験学習が単一的になると考えられます。また、一人の教職員が2学年の児童を同時に指導するため、教職員の指導に負担が大きく、指導方法で様々な課題が生じてきます。

これまで町内において複式学級編成が行われてきた学校では、教職員の指導力及び総合的な指導態勢のもとで、そのメリットや特徴が生かされ、学校間の学力・体力に大きな差はなかったといえます。しかし、これからの新たな小学校教育の目標達成には、多くの課題が生じてくると言わざるを得ません。小学校区の歴史的背景や小学校の地域における拠点としての役割を考慮しても、子どもたちへの教育の機会均等と教育水準の維持向上、社会性豊かな人間を育成する教育環境を維持するうえで、複式学級の解消を図る学級編成を三種町の適正な学校規模と考えます。

## (2) 学校再編の進め方

概ね10年以内に学校再編を進めます。本町では、地域における小・中学校の役割は大きく、相互に密接な関わりをもちながら学校運営や地域づくりが行われてきました。そうした状況を踏まえ、児童生徒数の推移予測や該当校における学校運営上の課題、地域づくりへの課題など、個々の課題解決に向けた検討を進め、保護者や地域住民の理解を得ながら段階的な再編を進めていくべきであると考えます。

そのため、今後概ね10年以内に町内6小学校を3校に、3中学校を1校の配置となるよう学校再編を進めていきます。また、今後も将来の児童生徒数の把握に努め、より望ましい教育環境の実現が図られるよう継続して調査・研究を進めていきます。

## (3) 教育的効果として期待できること

### ① 児童生徒の教育環境の充実

ア 適切な学級編制(クラス替え)を通じて新たな人間関係が生じ、多様な価値観や考え方をもちた仲間と触れ合えることができる学校規模であること。

イ 課題別学習、部活動、学校行事等において、多様な選択肢を提供する

ことができ、活気生まれる学校規模であること。

ウ 中学校では、進路面や生活面において、生徒一人一人の個性や特性に応じた指導が可能な学校規模であること。

## ② 教職員体制の充実

ア 中学校では、全教科に専任の教職員を配置するとともに、指導時間数の多い主要5教科に複数の教職員が配置できる学校規模であること。

## ③ 適切な学校運営

ア 学年事務や校務分掌が適切に配分され、緊急時や学級経営上の問題が生じた場合に適切な支援体制を組むことができ、教職員が児童生徒の指導に十分な時間を確保できる体制を組める学校規模であること。

イ 特別教室や体育館などの施設利用に制限を受けることなく、授業時間を適切に割り当てることが可能な学校規模であること。

# 4 具体的な再編計画

## (1) 再編の期間

本計画による学校再編の期間は、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

## (2) 再編対象学校

本計画において、再編の対象とする学校は、山本地域及び八竜地域小学校、町内全中学校とします。

琴丘地域の小学校は、平成21年度に小学校を統廃合して1校となっている経緯と、広範囲にわたる学校区の通学距離及び通学時間を考慮し、本計画においては、再編を行わず現行のまま計画的に施設整備を進めるものとします。

① 対象小学校

下岩川小学校、森岳小学校、金岡小学校、浜口小学校、湖北小学校

② 対象中学校

琴丘中学校、山本中学校、八竜中学校

(3) 再編計画と再編時期

① 琴丘地域小学校

琴丘地域では、旧上岩川小学校、旧鯉川小学校に複数学年で複式学級が存在したため、その解消等を目的として平成21年度に旧鹿渡小学校を含めた3校による再編を行い、琴丘小学校を新たに設置しております。すでに地域で1校となっているため、意見書の提言である3地域で1校ずつという考え方を基本とし、現状での再編は行わない事とします。

今後も児童生徒数の状況などを注視しながら、より良い教育環境の整備のために学校の在り方を検討します。

② 山本地域小学校

下岩川小学校は、複式学級があることから、令和3年度より準備委員会等により準備検討を行い、令和4年4月を目標として森岳小学校へ編入します。

金岡小学校は、令和7年度に複式学級が発生することが予想されるため、森岳小学校との再編による山本地域の1校化を目指します。

開校の目標年度は、新設中学校の開校や、八竜地域小学校の実施に合わせ、令和8年度とします。具体的な内容については令和5年度より準備委員会等において準備を行います。

③ 八竜地域小学校

浜口小学校が令和8年度に、湖北小学校は令和9年度に複式学級が発生することが予想されるため、八竜地域の1校化を目指します。

開校の目標年度は、新設中学校の開校や、山本地域小学校の実施に合わせ、令和8年度とします。具体的な内容については令和5年度より準備委員会等において準備を行います。

④ 中学校

中学校は、生徒数の更なる減少に伴う課題及び校舎の老朽化、町の財政状況を考え、令和6年度までに中学校校舎を完成させ、令和7年度の開校を目標



に再編を行います。

再編の具体的な内容については令和3年度より準備委員会等において準備を行います。

⑤ 小・中学校の一貫教育（令和13年度以降）

本計画では各地域に小学校を1校という計画としていますが、今後の児童生徒数の減少等、教育環境の変化に注視しながら、令和13年度以降の課題として、小学校の町1校化及び中学校との併設等の施設利用も含めた教育環境の在り方について検討を続けます。

（4）再編の場所

① 小学校の配置計画

ア 琴丘地域小学校

本計画においては現状のままとします。

イ 山本地域小学校

下岩川小学校は森岳小学校へ編入とし、下岩川小学校の利活用については、検討委員会等により、その有効利用を検討します。

金岡小学校との再編については、準備委員会等により、山本中学校の校舎を利用した新小学校の設置を目指します。

○ 設置理由

・下岩川小学校と金岡小学校の中間に位置しており、通学距離の平準化が図られること。

・中学校通学路線との一体化が図られ、より安全で、効率的な通学ができること。

・山本公民館等の社会教育施設の有効活用ができること。

・校舎やグラウンド等の施設を新中学校と共同で利用することができ、教育環境の充実が図られること。

ウ 八竜地域小学校

準備委員会等により準備を行い、八竜中学校の校舎を利用して新小学校の設置を目指します。

- 設置理由
  - ・湖北小学校と浜口小学校の中間に位置しており、通学距離の平準化が図られること。
  - ・八竜体育館、八竜農村環境改善センター等の社会教育施設が充実しており有効活用ができること。

② 中学校の配置計画

ア 新中学校の設置

町内3中学校を再編して1校とし、山本中学校の既存グラウンドに新校舎を建築し、安全な通学環境を確保した配置を計画します。

- 設置理由
  - ・各地域からの通学距離（直線距離）が概ね10km圏内であること。
  - ・森岳駅が約1.6kmのところの位置しており、琴丘地域や金岡小学校区の生徒の通学手段になること。
  - ・学校敷地面積が74,890㎡と新校舎を建築するに十分な面積を有しているほか、体育館等の施設が充実しており有効活用できること。

◎資料 令和2年度 中学校の部活動の状況

学校名	野球		バスケ		ソフト		テニス		陸上		卓球		柔道		吹奏楽		美術		他		合計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
琴丘中	13	0	17	10	0	15	8	11	0		0	0	0	0	5	6	0	0	5	2	48	44	92
山本中	18	0	0	14	0	0	0	19	8	9	8	0	0	0	6	19	0	0	2	1	42	62	104
八竜中	13	0	9	15	0	0	0	12	10	10	11	8	2	0	0	7	10	4	0	0	55	56	111

(5) 再編に伴う支援措置

① 学習環境の変化への対応

再編により学習環境等が変化することで、児童生徒が精神的負担を感じることはないよう、不安や悩みに対応する支援・相談体制の確立に努めます。

② 安全・安心な通学方法の確保

再編により通学時間やその他の通学条件が、児童生徒やその保護者にとって過重な負担とならないよう、スクールバスの運行や通学費補助金の支給等により対応します。また、通学路の安全・安心を確保するため、関係機関等との連携による通学路の安全点検とその対策に努めます。

③ 学校予算の充実

再編による学校数の減少に伴い、施設維持管理経費を抑制し、より充実した教育環境の整備に向けた予算の確保に努めます。

④ 地域の活動場所併設

地域コミュニティの活動拠点として、学校施設のより一層の活用を図る他、地域との連携を促進する施設づくりに努めます。

⑤ 避難所としての防災機能

災害時には避難所として体育館等が有効に機能するよう、防災性能の高い施設として防災機能を意識した配置に努めます。

## 5 おわりに

学校再編にあたっては、教育環境の整備を優先し、学校再編を進めていきます。

子どもたちにとっての望ましい教育環境は、適正な児童生徒集団が確保され、その中で多様な出会いによる豊かな人間形成と、学力・体力の向上が図られることにあります。教科指導はもとより、学校行事や児童会・生徒会活動をとおり、学校内の活性化が図られ、子どもたち自身のたくましく生きる力が育まれるものと期待されます。

一方、学校はその地域の拠り所であり、かつ、地域のシンボリック施設であることから、子どもたちにとって最適な教育環境を整えることを目的にするにしても、学校の再編が地域に与える影響が大きいことから、空き校舎の有効活用や若者の定住政策などにも考慮し、地域が活性化していくよう地域振興策にも取り組んでいきます。

資料 1

## 三種町内小・中学校の在り方等に関するアンケート調査 集 計 結 果 に つ い て

### 1 趣 旨

少子化に伴う児童生徒数の減少や施設の老朽化などの課題に向き合い、将来にわたり持続可能な教育環境の整備について検討していくため、保護者の意見を把握する。

2調査期間 令和元年5月20日～6月7日

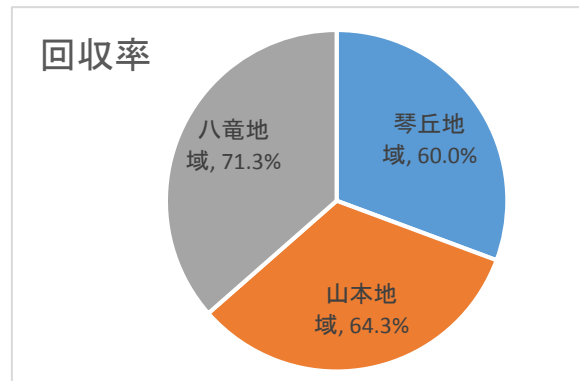
3調査対象 三種町内 幼・保育園、小学校、中学校に通う園児・児童・生徒の保護者

4実施方法 幼・保育園、小・中学校 を通じて保護者に配布・回収  
兄弟姉妹がいる場合は世帯でまとめて1 通回答

### 回答数・回収率

学 校 名	配布数	回答数	回収率
琴丘 保育園	84	48	57.1%
下岩川保育園	6	3	50.0%
森岳 保育園	81	40	49.4%
金岡 保育園	41	32	78.0%
浜口 保育園	55	34	61.8%
鵜川 保育園	69	45	65.2%
八竜 保育園	7	4	57.1%
八竜 幼稚園	8	4	50.0%
琴丘 小学校	133	78	58.6%
下岩川小学校	24	14	58.3%
森岳 小学校	97	58	59.8%
金岡 小学校	65	43	66.2%
浜口 小学校	89	68	76.4%
湖北 小学校	126	87	69.0%
琴丘 中学校	93	60	64.5%
山本 中学校	109	82	75.2%
八竜 中学校	110	89	80.9%
計	1,197	789	65.9%

### 回収率



### 地域別 回収率

地 域	配布数	回答数	回収率
琴 丘 地 域	310	186	60.0%
山 本 地 域	423	272	64.3%
八 竜 地 域	464	331	71.3%
計	1,197	789	65.9%

### 学校別回収率

種 別	配布数	回答数	回収率
幼・保育園	351	210	59.8%
小 学 校	534	348	65.2%
中 学 校	312	231	74.0%
計	1,197	789	65.9%

※アンケートの配布は、全ての園児・児童・生徒を対象に行った。回答については、兄弟など複数人がいる家庭では1枚にまとめたの回答を可とした。

参考：小中学校の回答率

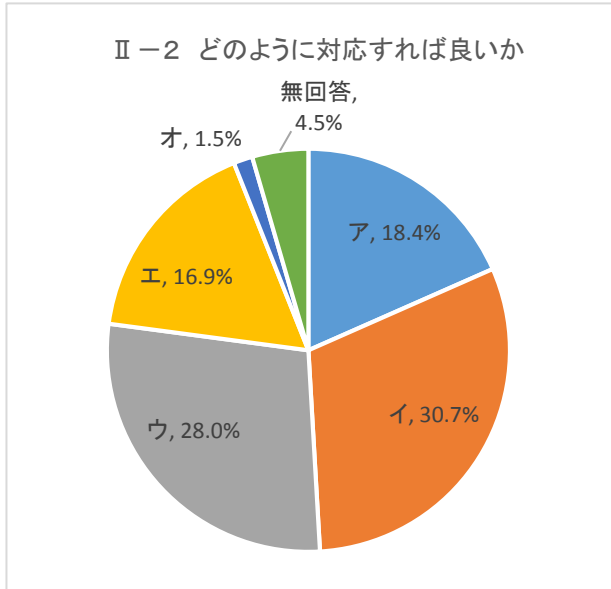
○小中学校保護者数 607人 回答数579 回収率 95.4%

## Ⅱ－２ 前問1の回答を踏まえて、どのように対応すれば良いと思いますか。（1つに〇）

回答数

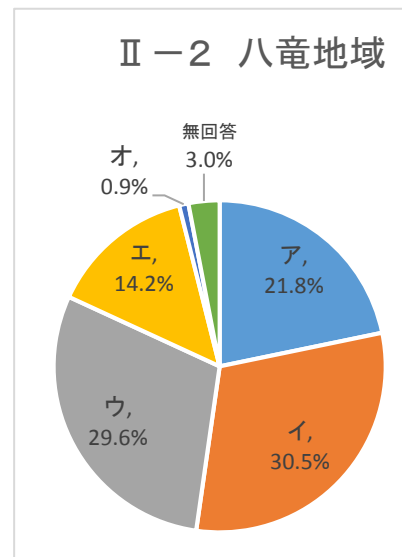
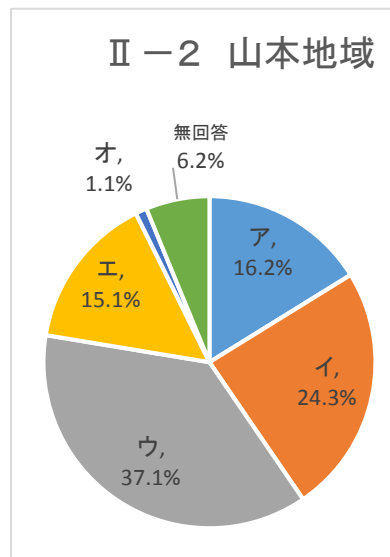
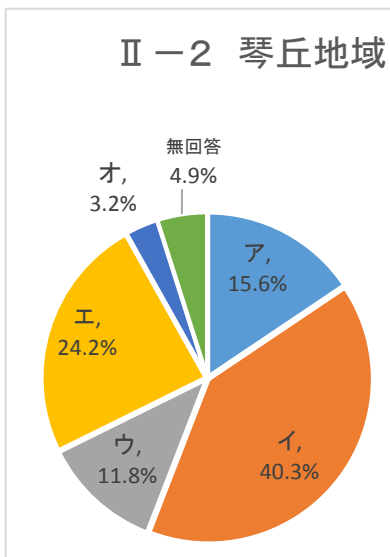
小学校	348	中学校	231	幼・保	210	計	789
-----	-----	-----	-----	-----	-----	---	-----

【全集計】



- ア 現状のままで良い 18.4%
- イ 現在の学校のままで、他校との連携を強化する 30.7%
- ウ 地域内の学校との統合を検討する 28.0%
- エ 町全体での学校の統合を検討する 16.9%
- オ その他 1.5%
- 無回答 4.5%

【Ⅱ－２地域別回答】

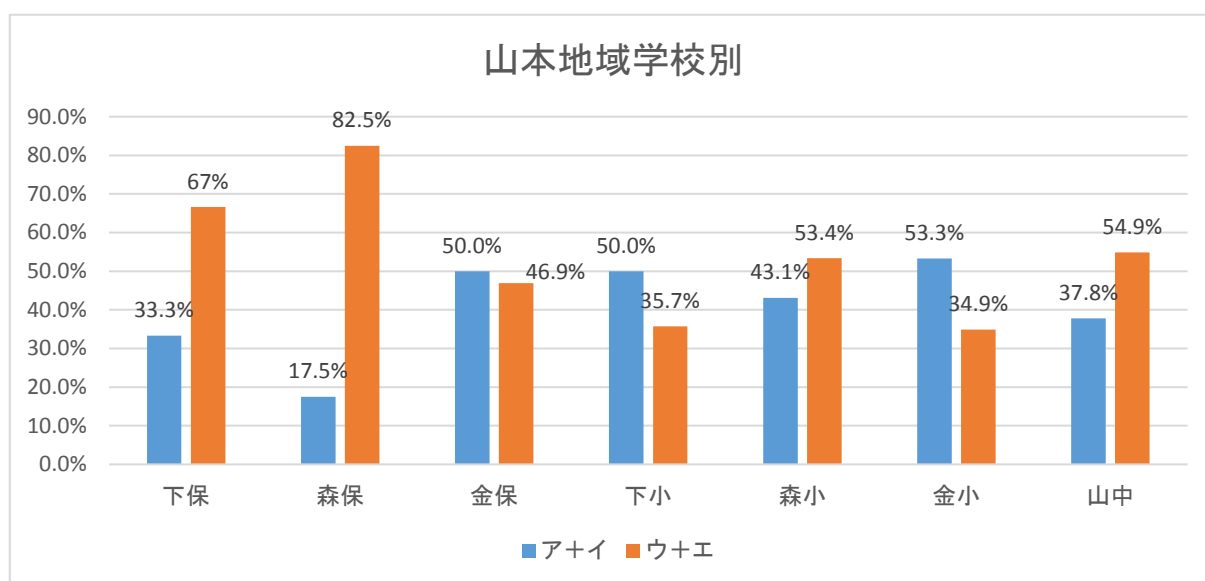


地域	現状維持	統合を検討する	教育委員会の意見
	(ア＋イ)	(ウ＋エ)	
全体	49.1%	44.9%	複式学級の解消は急務である。
琴丘	55.9%	36.0%	山本地域小学校について3～4年をめどに統合を目指す
山本	40.5%	52.2%	琴丘地域は統合しているので現状維持
八竜	52.3%	43.8%	八竜地域は現状維持であるが山本地域の動向をふまえ今後も検討する。
			3地域ともに今後の状況を踏まえ全町での統合を今後も検討していく。

## Ⅱ 一 2 前問1の回答を踏まえて、どのように対応すれば良いと思いますか。 小学校の統合について検討の意見が多い山本地域について学校別に集計

	配布数	回答数	現状維持 (ア+イ)		統合検討 (ウ+エ)	
下岩川保育園	6	3	1	33.3%	2	67%
森岳保育園	81	40	7	17.5%	33	82.5%
金岡保育園	41	32	16	50.0%	15	46.9%
下岩川小学校	24	14	7	50.0%	5	35.7%
森岳小学校	97	58	25	43.1%	31	53.4%
金岡小学校	65	43	23	53.3%	15	34.9%
山本中学校	109	82	31	37.8%	45	54.9%
	423	272	110		146	

※パーセンテージは各学校ごとの集計による



### ○ 下岩川地域

保育園の保護者は小学校の統合について検討する意見が多い。

小学校の保護者は検討について現状維持の意見が多い。

### ○ 森岳地域

保育園、小学校の保護者ともに小学校の統合について検討する意見が多い。

### ○ 金岡地域

保育園、小学校の保護者ともに小学校の統合について現状維持の意見が多い。

### ○ 中学校の保護者は小学校の統合について検討する意見が多い。

### Ⅲ 中学校について

Ⅲ－１ 三種町の中学校の生徒数は今後減少する傾向にあります。このような中で、現在お困りのことや気になっていること、または今後について不安に思っていることがありましたら、当てはまる欄に○をしてください。(3つ以内)

- ア 特に無し
- イ 友人関係が狭まったり固定化したりする
- ウ 話し合い活動や授業において、生徒の多様な意見が出にくい
- エ 班活動やグループ分けに制約が生じやすい
- オ 音楽の合唱・合奏のような集団学習の教育効果が十分得られない
- カ 学力の低下が懸念される
- キ 部活動等の種類が限定される
- ク その他

地 域	回答数	ア		イ		ウ		エ	
琴 丘 地 域	186	36	19.4%	103	55.4%	34	18.3%	25	13.4%
山 本 地 域	272	73	26.8%	79	29.0%	29	10.7%	45	16.5%
八 竜 地 域	331	100	30.2%	117	35.3%	41	12.4%	43	13.0%
計	789	209	26.5%	299	37.9%	104	13.2%	113	14.3%

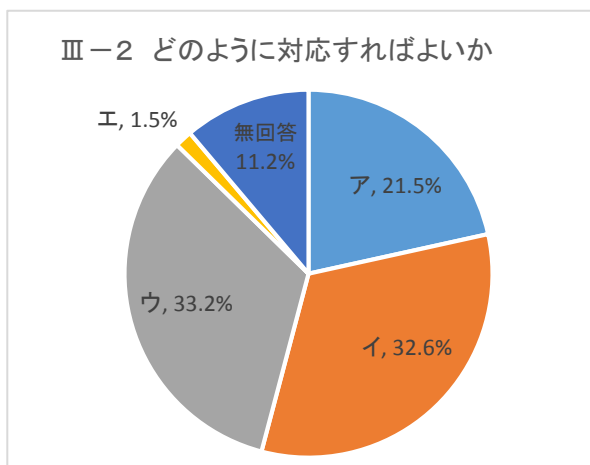
地 域	回答数	オ		カ		キ		ク	
琴 丘 地 域	186	16	8.6%	19	10.2%	121	65.1%	5	2.7%
山 本 地 域	272	25	9.2%	25	9.2%	132	48.5%	3	1.1%
八 竜 地 域	331	32	9.7%	35	10.6%	181	54.7%	3	0.9%
計	789	73	9.3%	79	10.0%	434	55.0%	11	1.4%

Ⅲ－２ 前問1の回答を踏まえて、どのように対応すれば良いと思いますか。あてはまる欄1つに○をしてください。

回答数

小学校	348	中学校	231	幼・保	210	計	789
-----	-----	-----	-----	-----	-----	---	-----

#### 【全集計】



- ア 現状のままで良い 21.5%
- イ 現在の学校のままで、他校との連携を強化する 32.6%
- ウ 町全体での学校の統合を検討する 33.2%
- エ その他 1.5%
- 無回答 11.2%

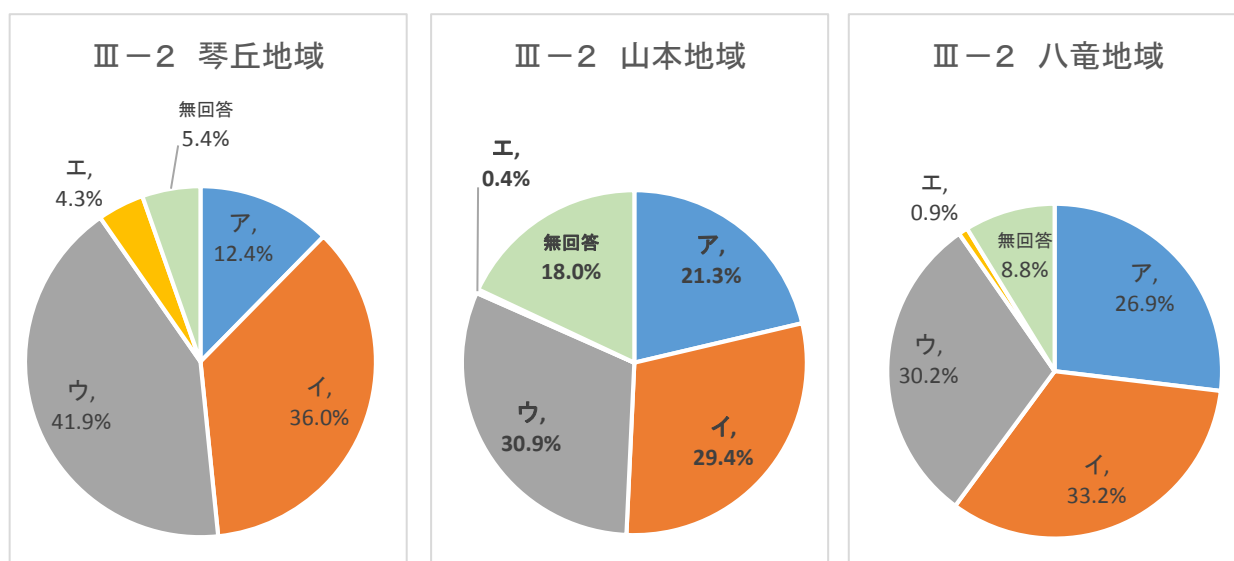
## Ⅲ－２ どのように対応すれば良いか。(地域別)

回答数

小学校	348	中学校	231	幼・保	210	計	789
-----	-----	-----	-----	-----	-----	---	-----

- ア 現状のままで良い
- イ 現在の学校のままで、他校との連携を強化する
- ウ 町全体での学校の統合を検討する
- エ その他

### 【Ⅲ－２地域別回答】



地域	現状維持	統合を検討する	教育委員会の意見
	(ア+イ)	(ウ)	
全体	54.1%	33.2%	現状維持で、学校間交流を先に検討する。 生徒数の動向を見ながら今後も検討を行う。
琴丘	48.4%	41.9%	
山本	50.7%	30.9%	
八竜	60.1%	30.2%	



## 意見書

令和 2 年 1 月 2 日

三種町教育委員会  
教育長 鎌田義人 様三種町小・中学校の在り方検討懇談会  
会長 長 浜 中

## 1 はじめに

本町においては、平成 19 年度に三種町学校再編検討委員会より出された「三種町立学校の再編整備について」の提言内容を踏まえ、「三種町立学校の再編整備計画」が策定され、教育環境等の整備が図られてきた。

令和元年度には、学校小規模化等が進む小・中学校の再編について、教育委員会及び総合教育会議において、園児や児童生徒の保護者を対象とした小・中学校の在り方等に関するアンケート調査を実施し、今後の児童生徒数や町の財政事情、複式学級等教育の質、国が進める教育改革や働き方改革への対応等を基に、望ましい教育環境を確保するためにどのようにあるべきか協議し、「三種町立小・中学校再編の方向性について」を決定した。

本懇談会は、昨年度に決定した方向性を受け、三種町教育委員会教育長から、児童生徒の教育の機会均等、教育水準の向上のために望ましい教育環境を確保するためにはどのようにあるべきか検討するよう依頼された。

会議では、学校再編の方向性の内容を確認した上で、本町小・中学校の在るべき姿について、地域と一体となった学校の在り方等を含めて、地域住民からの要望、複式学級の解消、通学方法や所要時間、施設状況等を基準として、多面的・多角的に検討を行った。

話し合いは、琴丘・山本・八竜地域に分かれた各分会で意見を出し合い、全体会で集約をしていく方法で行い、その中で様々な意見が出された。教育環境の課題として、人間関係の固定化の不安や、学校行事、スポーツ活動等が制限される等、子どもたちに選択する機会が少ないことなどが挙げられた。一方、まちづくり政策と連携した計画策定を望む声や、子どもたちが住み暮らしている地域とのつながりや文化の継承についての不安、遠距離通学の課題など多くの意見があり、結論を導くのは大変難しい作業であったが、三種町の将来を担う子どもたちの教育環境を第一に考えて学校の再編を進めて欲しいという意見や、行政より具体的な計画を示して欲しいとの意見が大勢であったことから、これらの意見を集約し、本懇談会として次のとおり提言する。

## 2 提 言

- (1) 小学校については、地域で育ち、ふるさとを愛する心を醸成できる環境が必要である。そのためには、学校と地域との密接な連携協力や、幼・保・小の連携が大切である。また、通学所要時間は、1時間を超えることがないように配慮して、旧3町の地域ごとに1校に再編することが望ましい。
- (2) 中学校については、社会性を身に付けることが必要になるため、ある程度の集団での教育が望ましいことや、学校生活における部活動の占める割合も大きいことなどを考慮しながら、新校舎の建築等を含めた町1校化を早急に検討すべきである。
- (3) 児童生徒数の更なる減少に伴う複式学級や部活動等の諸課題及び校舎の老朽化に伴う学校管理運営経費の増加や校舎の安全性、教育環境整備等の課題や、新型コロナウイルス感染症で人と人との距離の確保が求められていること等を十分考慮しながら教育環境の充実に努めるべきである。

再編についての方向性は次のとおりである。

- (1) 令和3年度～令和7年度まで
  - ① 下岩川小学校は、複式学級があることから、住民説明など準備期間を経て、令和4年4月を目標として森岳小学校への再編を検討する。
  - ② 金岡小学校は、令和7年度に複式学級が発生することが予想されるため、山本地域での1校化を検討する。
  - ③ 中学校は、生徒数の更なる減少に伴う課題及び校舎の老朽化、町の財政状況を考え、令和7年度までに中学校校舎を完成させ、令和8年度の開校を目標に町1校の再編を検討する。
- (2) 令和8年度～令和12年度まで  
浜口小学校が令和8年度に、湖北小学校は令和9年度に複式学級が発生することが予想されるため、八竜地域の1校化を検討する。
- (3) 令和13年度以降  
児童生徒数の減少等、教育環境の変化に注視しながら、小学校の町1校化及び中学校との併設等の施設利用も含めた教育環境の在り方について検討を続ける。

再編により、次のことが教育上の効果として期待できる。

- (1) 学級の人数が増えることにより、グループ学習や体育のボールゲーム、音楽での合奏・合唱など学習の多様化が可能となる。
- (2) 児童生徒数が増加することにより、多様な考え方に触れる機会が多くなる。中学校では、クラス替えができるようになることや部活数が増加して活気ある活動が期待できる。さらに、それぞれの学年に複数の教員配置が可能になり、学年運営や教材研究等における教員の力量向上が図られ、充実した学習指導が期待できる。
- (3) 教育予算の集中化が可能となり、教育環境の充実が期待できる。
- (4) 文化的につながりの深い旧3町での再編により、伝統行事等に他地区の子どもたちが参加し触れる機会が広がることで、学習機会の広がりや地域とのつながりを深めることができる。

再編の際には次のことに配慮していただきたい。

- (1) 再編となる学校において、子どもたちは人間関係や学習環境が大きく変わるようになるため、事前の交流活動や再編後のきめ細かな指導が行えるよう配慮すること。
- (2) 地域と密接な関係の中で行われている、特色ある教育活動を継承できるように配慮すること。
- (3) 遠距離通学となる子どもたちの負担を考慮し、適切な通学支援を検討すること。
- (4) 学校は地域コミュニティの中心的役割を担ってきた。学校再編後の跡地等の利活用方法について、地域住民と共に検討すること。
- (5) 再編に当たっての具体的な内容については、早急に学校再編計画等を策定するとともに、地域住民との情報交換や説明等に努めること。

### 3 おわりに

本懇談会は、児童生徒数の減少による学校の小規模化や校舎の老朽化など、町内小・中学校の現状を認識することから始め、教育効果や地域と学校の関連性等の諸課題について討論し、子どもたちにとってよりよい教育環境となるにはどのようにしたらよいかを活発な協議の中から意見書としてまとめた。

再編後の学校においては、総合的な学習の時間や学校行事、地域行事等を通して地域に学び、地域の人々と触れ合うことの中から、ふるさとへの愛着を育てる教育を更に充実させるとともに、社会情勢を見据え、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を目指してグローバルな人材育成を重点として推進していただきたい。また、文部科学省が提唱するGIGAスクール構想（※1）等を軸とした情報通信技術を活用した学習を積極的に展開していくなど、これからの時代にあった教育を推進し、教育環境の充実に努めていただきたい。

最後に、予測のつかない未来に向かい、未来を切り開く力を持った三種町の将来を担う子どもの姿を最優先事項として、学校や家庭、地域と連携しながら、よりよい教育環境の整備を進め、三種町の教育が更に発展することを期待するものである。

#### ※1 GIGAスクール構想

児童生徒への1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想。

資料3

三種町立小・中学校 児童生徒数の推移

小学校 児童数

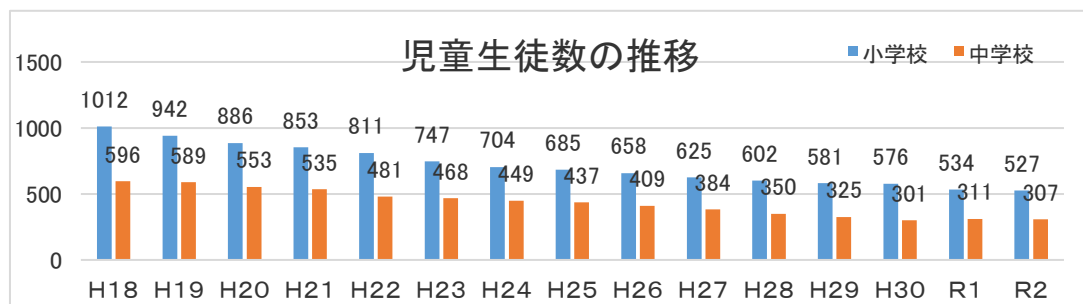
資料: 学校基本調査

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
<b>琴丘小</b>				<b>220</b>	<b>221</b>	<b>205</b>	<b>196</b>	<b>196</b>	<b>189</b>	<b>192</b>	<b>172</b>	<b>161</b>	<b>150</b>	<b>133</b>	<b>129</b>
男				97	97	96	95	95	93	99	95	80	71	59	63
女				123	124	109	101	101	96	93	77	81	79	74	66
<b>鹿渡小</b>	<b>213</b>	<b>198</b>	<b>192</b>	H21年度より 琴丘小学校											
男	104	97	92												
女	109	101	100												
<b>鯉川小</b>	<b>27</b>	<b>22</b>	<b>19</b>												
男	15	11	9												
女	12	11	10												
<b>上岩川小</b>	<b>30</b>	<b>25</b>	<b>19</b>												
男	14	11	7												
女	16	14	12												
<b>下岩川小</b>	<b>54</b>	<b>55</b>	<b>49</b>												
男	21	24	22	23	23	27	23	21	17	15	15	12	11	9	8
女	33	31	27	28	25	25	21	23	22	19	19	20	16	15	15
<b>森岳小</b>	<b>160</b>	<b>142</b>	<b>138</b>	<b>130</b>	<b>119</b>	<b>111</b>	<b>99</b>	<b>101</b>	<b>94</b>	<b>92</b>	<b>93</b>	<b>93</b>	<b>108</b>	<b>97</b>	<b>99</b>
男	78	70	66	61	56	56	46	43	42	42	43	44	52	48	51
女	82	72	72	69	63	55	53	58	52	50	50	49	56	49	48
<b>金岡小</b>	<b>122</b>	<b>108</b>	<b>107</b>	<b>89</b>	<b>87</b>	<b>81</b>	<b>79</b>	<b>80</b>	<b>77</b>	<b>72</b>	<b>73</b>	<b>76</b>	<b>71</b>	<b>65</b>	<b>66</b>
男	55	49	49	44	46	46	48	48	39	34	34	37	31	27	27
女	67	59	58	45	41	35	31	32	38	38	39	39	40	38	39
<b>浜口小</b>	<b>203</b>	<b>193</b>	<b>173</b>	<b>178</b>	<b>157</b>	<b>135</b>	<b>120</b>	<b>111</b>	<b>106</b>	<b>95</b>	<b>98</b>	<b>91</b>	<b>90</b>	<b>88</b>	<b>87</b>
男	109	111	103	102	86	69	60	49	45	41	45	46	43	46	44
女	94	82	70	76	71	66	60	62	61	54	53	45	47	42	43
<b>湖北小</b>	<b>203</b>	<b>199</b>	<b>189</b>	<b>185</b>	<b>179</b>	<b>163</b>	<b>166</b>	<b>153</b>	<b>153</b>	<b>140</b>	<b>132</b>	<b>128</b>	<b>130</b>	<b>127</b>	<b>123</b>
男	97	96	95	89	87	94	100	93	87	77	80	68	66	62	61
女	106	103	94	96	92	69	66	60	66	63	52	60	64	65	62
<b>計</b>	<b>1,012</b>	<b>942</b>	<b>886</b>	<b>853</b>	<b>811</b>	<b>747</b>	<b>704</b>	<b>685</b>	<b>658</b>	<b>625</b>	<b>602</b>	<b>581</b>	<b>576</b>	<b>534</b>	<b>527</b>
男	493	469	443	416	395	388	372	349	323	308	312	287	274	251	254
女	519	473	443	437	416	359	332	336	335	317	290	294	302	283	273

中学校 生徒数

資料: 学校基本調査

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
<b>琴丘中</b>	<b>172</b>	<b>175</b>	<b>157</b>	<b>154</b>	<b>124</b>	<b>122</b>	<b>117</b>	<b>116</b>	<b>109</b>	<b>98</b>	<b>99</b>	<b>96</b>	<b>97</b>	<b>94</b>	<b>92</b>
男	89	88	74	75	65	62	56	51	47	40	43	50	57	57	48
女	83	87	83	79	59	60	61	65	62	58	56	46	40	37	44
<b>山本中</b>	<b>242</b>	<b>215</b>	<b>191</b>	<b>182</b>	<b>167</b>	<b>149</b>	<b>142</b>	<b>132</b>	<b>140</b>	<b>125</b>	<b>114</b>	<b>99</b>	<b>94</b>	<b>109</b>	<b>104</b>
男	130	110	96	84	77	62	64	64	74	65	57	52	50	53	42
女	112	105	95	98	90	87	78	68	66	60	57	47	44	56	62
<b>八童中</b>	<b>182</b>	<b>199</b>	<b>205</b>	<b>199</b>	<b>190</b>	<b>197</b>	<b>190</b>	<b>189</b>	<b>160</b>	<b>161</b>	<b>137</b>	<b>130</b>	<b>110</b>	<b>108</b>	<b>111</b>
男	98	103	106	104	105	103	94	97	92	93	72	69	60	61	55
女	84	96	99	95	85	94	96	92	68	68	65	61	50	47	56
<b>計</b>	<b>596</b>	<b>589</b>	<b>553</b>	<b>535</b>	<b>481</b>	<b>468</b>	<b>449</b>	<b>437</b>	<b>409</b>	<b>384</b>	<b>350</b>	<b>325</b>	<b>301</b>	<b>311</b>	<b>307</b>
男	317	301	276	263	247	227	214	212	213	198	172	171	167	171	145
女	279	288	277	272	234	241	235	225	196	186	178	154	134	140	162



資料4

## 三種町立小・中学校 児童生徒数・学級数の推計

小学校		令和3年度(2021)						令和4年度(2022)						令和5年度(2023)						令和6年度(2024)						令和7年度(2025)						令和8年度(2026)								
		1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4
琴丘小(琴丘地域)	児童	28	26	15	19	21	19	113	16	13	26	15	19	21	110	15	20	16	13	26	15	105	10	15	20	16	13	26	100	12	10	15	20	16	13	86				
	学級	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6				
下岩川小	児童	6	2	6	2	4	5	25							0							0							0							0				
	学級	1	1	1	1	1	1	4							0							0							0							0				
森岳小	児童	11	15	13	24	15	17	95	18	17	17	19	26	19	116	21	21	18	17	17	19	113	13	21	21	18	17	17	107	10	13	21	21	18	17	100				
	学級	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6				
金岡小	児童	10	12	9	10	12	14	67	13	10	12	9	10	12	66	7	13	10	12	9	10	61	9	7	13	10	12	9	62	7	11	9	7	13	10	57				
	学級	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	5				
山本地域	児童	27	29	28	36	31	36	187	31	27	29	28	36	31	182	28	31	28	31	27	29	173	24	30	28	31	27	29	169	17	24	30	28	31	27	157				
	学級	1	1	1	2	1	2	8	1	1	1	1	1	2	7	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6				
浜口小	児童	15	14	11	19	11	13	83	10	15	14	11	19	11	80	9	10	15	14	11	19	78	12	9	10	15	14	11	63	3	3	12	9	10	15	52				
	学級	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	5				
湖北小	児童	14	19	20	19	25	21	118	12	14	19	20	19	25	109	6	12	14	19	20	19	90	20	6	12	14	19	20	77	10	6	20	6	12	14	68				
	学級	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6				
八竜地域	児童	29	33	31	38	36	34	201	22	29	33	31	38	36	189	15	22	29	33	31	38	168	32	15	22	29	33	31	140	13	9	32	15	22	29	120				
	学級	1	1	1	2	2	1	6	1	1	1	1	1	2	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6				
計	児童	69	88	74	93	88	89	501	69	69	88	74	93	88	481	63	69	69	88	74	93	456	77	63	69	69	88	88	409	42	43	77	63	69	69	363				
	学級	2	3	2	3	3	3	16	2	2	3	2	3	3	15	2	2	2	2	2	3	14	2	2	2	2	2	3	13	2	2	2	2	2	2	12				

※赤印：今後の転校等により1学級の可能性がある児童数

中学校		令和3(2021)年度			令和4(2022)年度			令和5(2023)年度			令和6(2024)年度			令和7(2025)年度			令和8(2026)年度			令和9(2027)年度			令和10(2028)年度			令和11(2029)年度			令和12(2030)年度			令和13(2031)年度			令和14(2032)年度															
		1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3														
琴丘中	生徒	28	33	29	90	19	28	33	80	21	19	28	68	19	21	19	59	15	19	21	55	26	15	19	60	13	26	15	54	16	13	26	55	20	16	13	49	15	20	16	51	10	15	20	45	12	10	15	37	
	学級	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	
山本中	生徒	28	26	47	101	36	28	26	90	31	36	28	95	36	31	36	103	28	36	31	95	29	28	36	93	27	29	28	84	31	27	29	87	28	31	27	86	30	28	31	89	24	30	28	82	17	24	30	71	
	学級	1	1	2	4	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	
八竜中	生徒	38	40	37	115	34	38	40	112	36	34	38	108	38	36	34	108	31	38	36	105	33	31	38	102	29	33	31	93	22	29	33	84	15	22	29	66	32	15	22	29	69	9	32	15	56	13	9	32	54
	学級	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1	1	3	
計	生徒	94	99	113	306	89	94	99	282	88	89	94	271	93	88	89	270	74	93	88	255	88	74	93	255	69	69	88	88	69	69	88	226	63	69	69	201	77	63	69	209	43	77	63	183	42	43	77	162	
	学級	3	3	3	9	3	3	3	9	3	3	3	9	3	3	3	9	2	3	3	8	3	2	3	8	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	2	2	2	6	

※赤印：生徒数=生徒の転校等により1学級の可能性がある。学級数=2クラスになることが予測される。

## 資料5

## 三種町立小・中学校 校舎の状況

No.	学校名	校地面積			校舎(主なもの)			体育館(主なもの)		
		建物敷地	運動場	合計	建築年	面積	改修等	建築年	面積	改修等
1	琴丘小学校	12,146 m <sup>2</sup>	8,400 m <sup>2</sup>	20,546 m <sup>2</sup>	S55.03	3,456 m <sup>2</sup>	H25地震補強	S55.04	907 m <sup>2</sup>	H25(交)地震補強、H27(交)防災機能強化(照明)、H27(交)大規模改修(内装・外壁)
2	下岩川小学校	13,102 m <sup>2</sup>	16,994 m <sup>2</sup>	30,096 m <sup>2</sup>	S51.12	2,326 m <sup>2</sup>	S57.02音楽室・音楽準備室、H26地震補強	S36.12	1,018 m <sup>2</sup>	H17耐震補強、大規模改修。
3	森岳小学校	4,097 m <sup>2</sup>	7,209 m <sup>2</sup>	11,306 m <sup>2</sup>	S47.03	2,589 m <sup>2</sup>	H22地震補強	S47.08	793 m <sup>2</sup>	S62災害復旧
4	金岡小学校	9,652 m <sup>2</sup>	20,736 m <sup>2</sup>	30,388 m <sup>2</sup>	S54.03	3,158 m <sup>2</sup>	耐震結果=耐震改修の基準以上	S57.11	874 m <sup>2</sup>	
5	浜口小学校	5,257 m <sup>2</sup>	16,104 m <sup>2</sup>	21,361 m <sup>2</sup>	S54.03	3,115 m <sup>2</sup>	H25地震補強	H11.08	1,181 m <sup>2</sup>	H10国庫補助
6	湖北小学校	7,430 m <sup>2</sup>	12,656 m <sup>2</sup>	20,086 m <sup>2</sup>	S55.03	3,216 m <sup>2</sup>	H25地震補強	S55.03	921 m <sup>2</sup>	H2地震補強、H26大改修(外壁、屋根、WC)、H27防災機能強化(照明)
7	琴丘中学校	6,580 m <sup>2</sup>	28,010 m <sup>2</sup>	34,590 m <sup>2</sup>	S40.03	3,998 m <sup>2</sup>	S59・60大規模改修、H20地震補強	S41.07	1,040 m <sup>2</sup>	H20地震補強
8	山本中学校	23,839 m <sup>2</sup>	51,051 m <sup>2</sup>	74,890 m <sup>2</sup>	S49.11	4,444 m <sup>2</sup>	H24地震補強	S51.03	2,018 m <sup>2</sup>	①体育館(1515m <sup>2</sup> )、②柔剣道場S53.11(共励館544m <sup>2</sup> )
9	八童中学校	23,643 m <sup>2</sup>	24,867 m <sup>2</sup>	48,510 m <sup>2</sup>	S50.03	4,032 m <sup>2</sup>	H22地震補強	S50.05	2,059 m <sup>2</sup>	①体育館・部室(1678m <sup>2</sup> )、②小体育館S53.06(340m <sup>2</sup> )